

公共経済学とフロンティア

小林 潔 司

公共経済学とは

- 家計（効用最大化行動）
- 企業（利潤最大化行動）

外部性、補完性

時・空間集積の原理

なぜ、人はランチタイムにランチを取るのか？

なぜ、フィナンシャルアナリストの大半がニューヨークに集まるのか？

フィレンツェの大聖堂



Christian time system

matines

midnight

laudes

around 3:00

prime

around 6:00

tierce

around 9:00

sixte

around 12:00

none

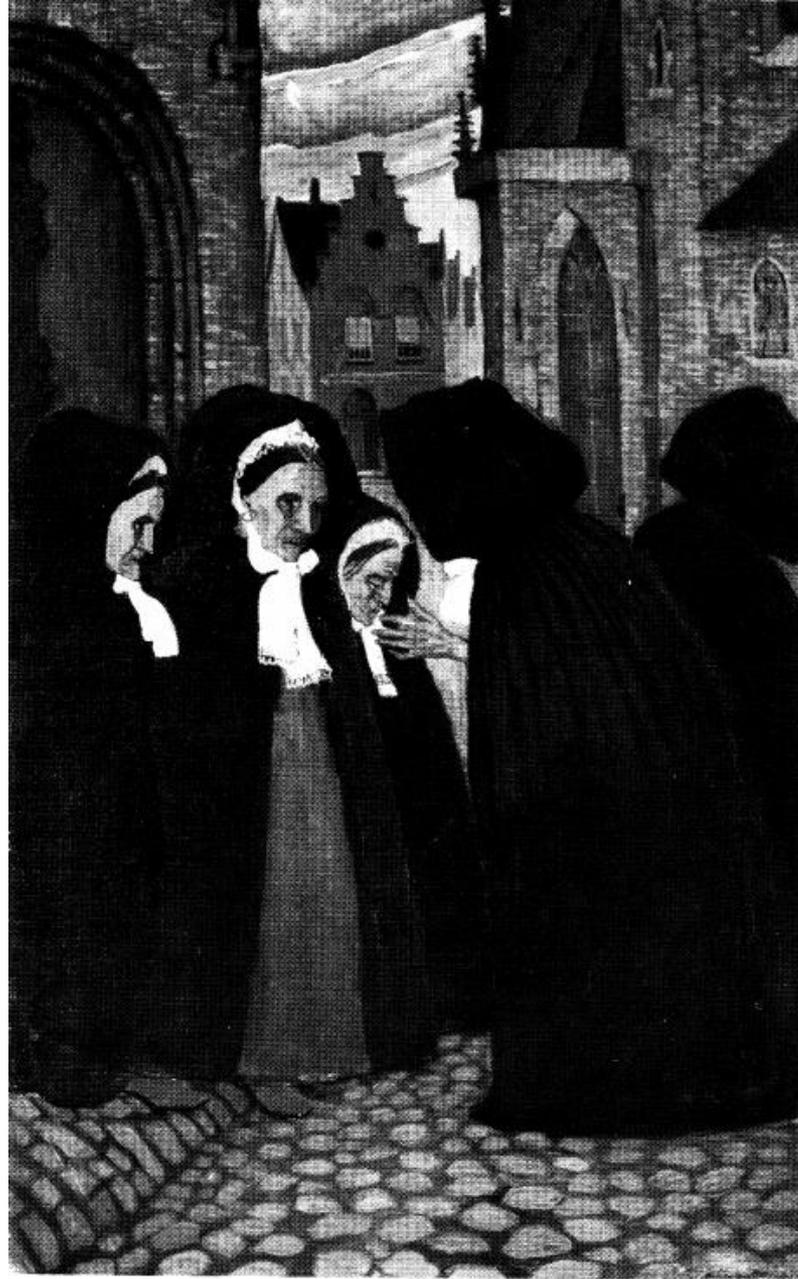
around 15:00

vêpres

around 18:00

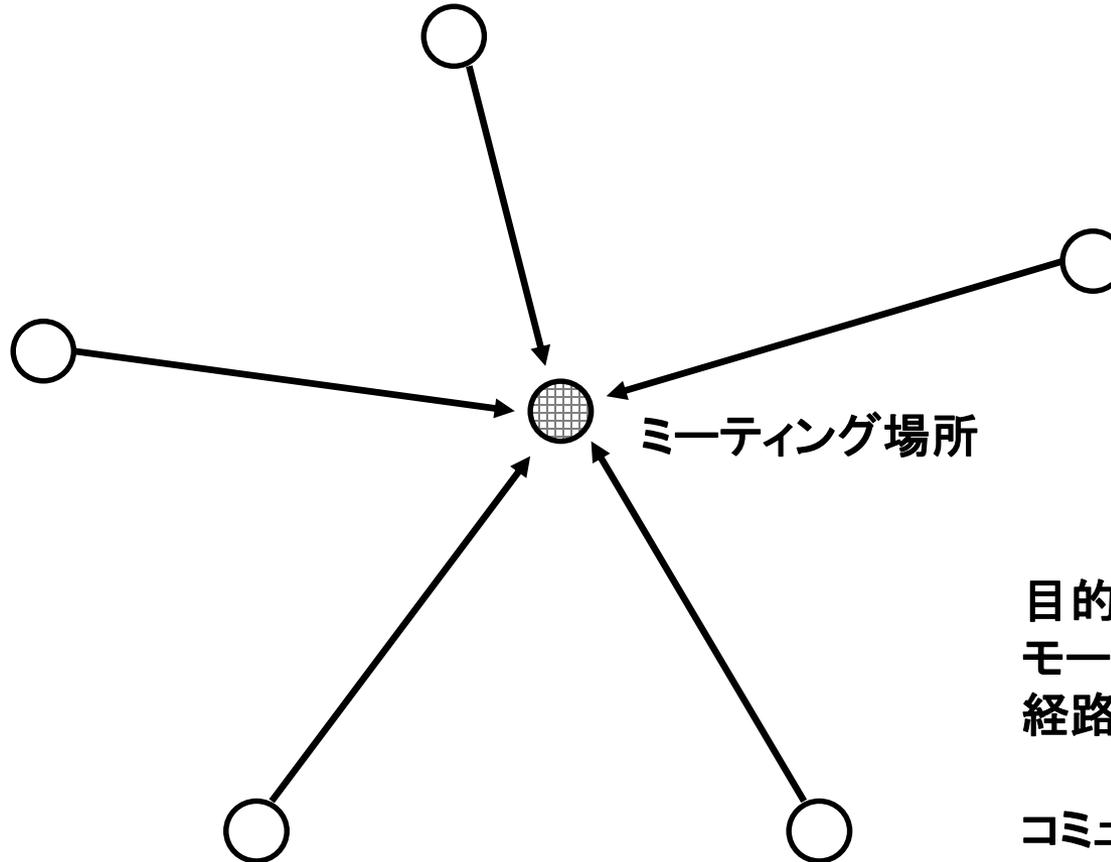
complies

around 21:00



*Brügge – Flanderns medeltida centrum
Målning av Olof Sager-Nelson*

交通ネットワーク

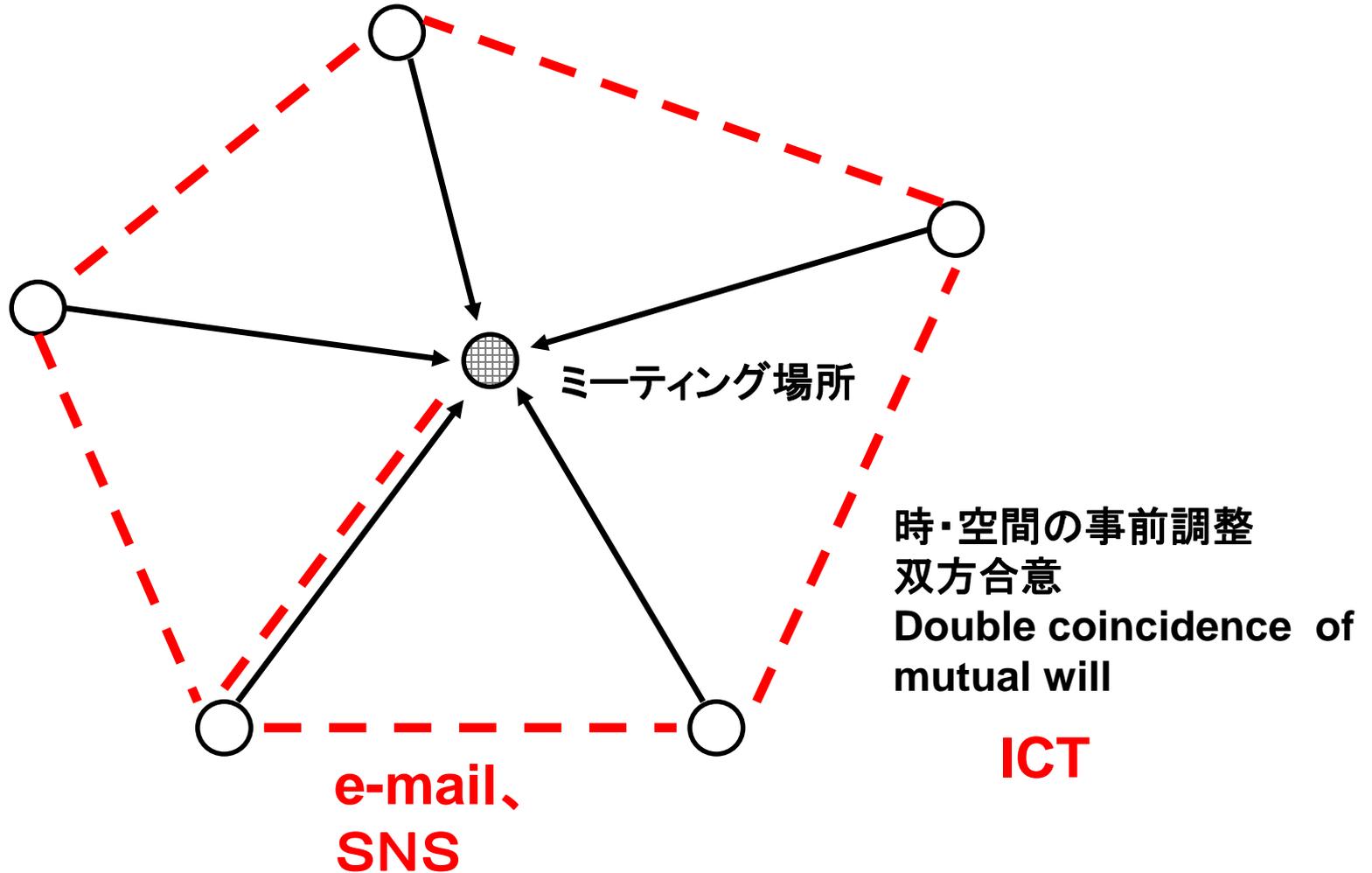


目的地選択
モード選択
経路選択

コミュニケーションの途絶

ITS

人的ネットワーク



グローバル化のメカニズム

$$p \times p = p^2$$

$$0.5 \times 0.5 = 0.25$$

$$0.1 \times 0.1 = 0.01$$

$$0.01 \times 0.01 = 0.0001$$

公共経済学とは

- 家計（効用最大化行動）
- 企業（利潤最大化行動）

外部性（個人の行動が他人の行動に影響を及ぼす）

混雑、地球環境問題

補完性（個人間の行動の調整が社会全体の効率性に影響を及ぼす）

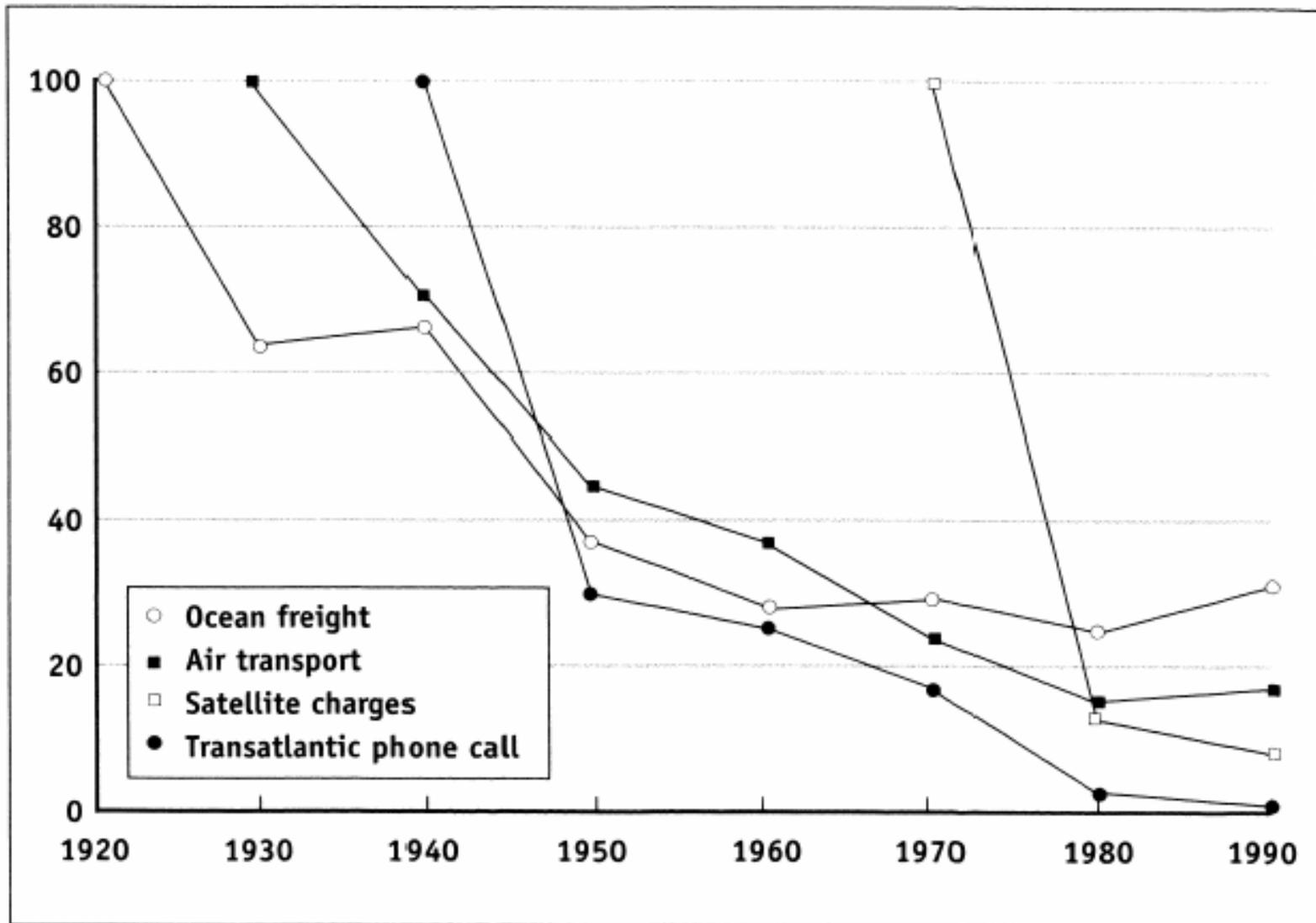
補完性(都市経済学)

時間 (lunch time)

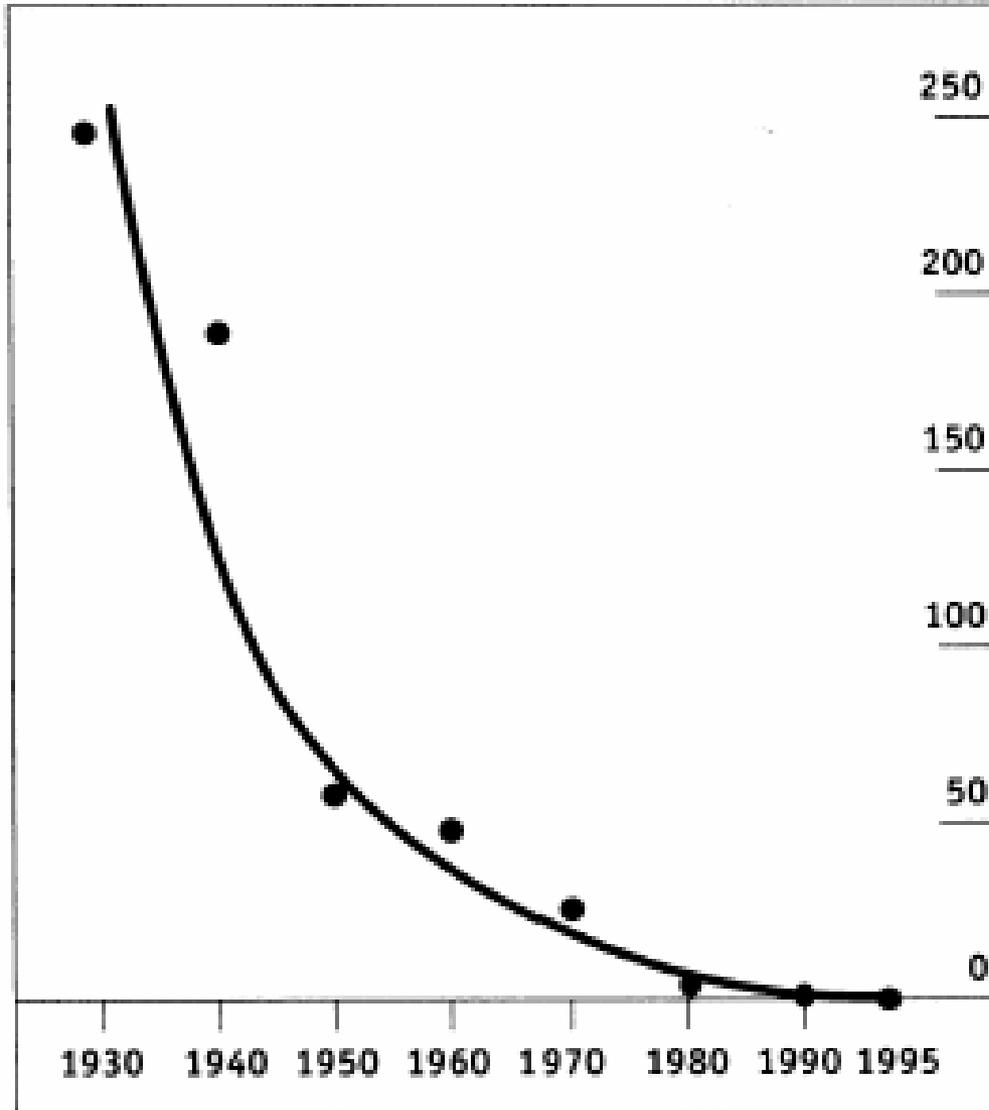
空間 (N.Y.)

都市・交通・ターミナル

輸送費用の継続的改善



通信費用の継続的改善



大陸間通信容量

Year	<i>Transatlantic (North America–Europe) Voice Paths</i>		<i>Transpacific (North America–East Asia) Voice Paths</i>	
	Cable	Satellite	Cable	Satellite
1986	22,000	78,000	2,000	39,000
1987	22,000	78,000	37,800	39,000
1988	60,000	78,000	37,800	39,000
1989	145,000	93,000	37,800	39,000
1990	145,000	283,000	37,800	39,000
1991	221,000	283,000	114,200	27,000
1992	296,600	496,000	190,500	27,000
1993	410,000	620,800	264,000	83,300
1994	701,800	620,800	264,000	234,000
1995	1,310,800	710,800	264,000	234,000
1996	1,310,800	710,800	864,600	234,000
1997–2000*	1,310,800	737,500	1,464,600	424,500

*Minimum available

Source: TeleGeography, Inc.—Washington, DC.

市場競争の変化

- 伝統的競争
 - 価格競争
 - 品質競争
- ビジネスモデル間競争
 - 標準化競争
 - 生き残り競争

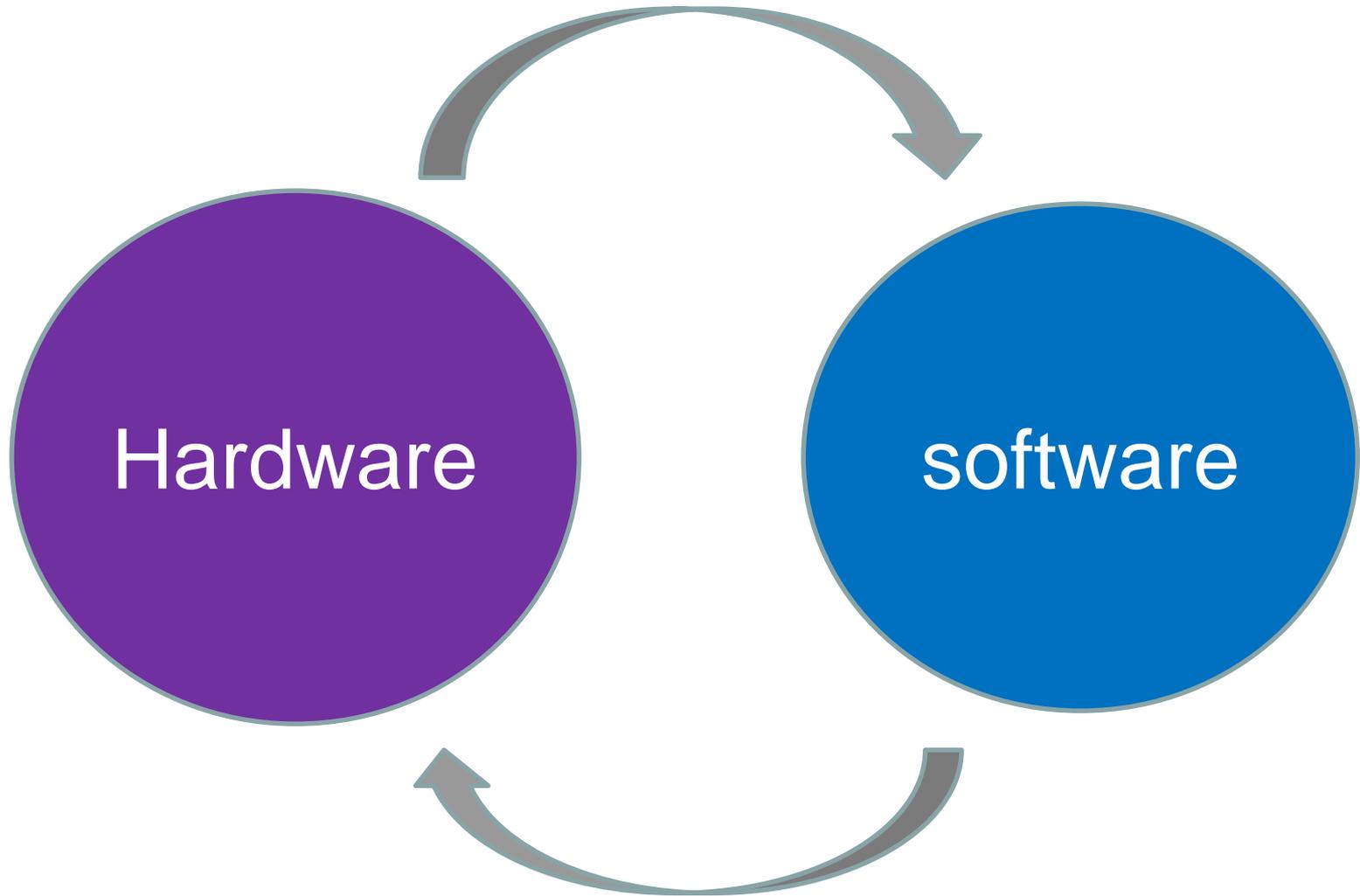
戦略的補完性

システムの複雑化

システムのモジュール化

モジュール間競争、システム間競争

つきあいの原理



ビジネスモデル間競争の帰結

- 複数均衡解
- ロックイン効果(lock-in effects)
- 雪だるま効果(snow ball effects)

lock-in はずしの技術 (インフラ)

QWERTY配列（ロックイン効果）

Q W E R T Y U I O P
A S D F G H J K L
Z X C V B N M

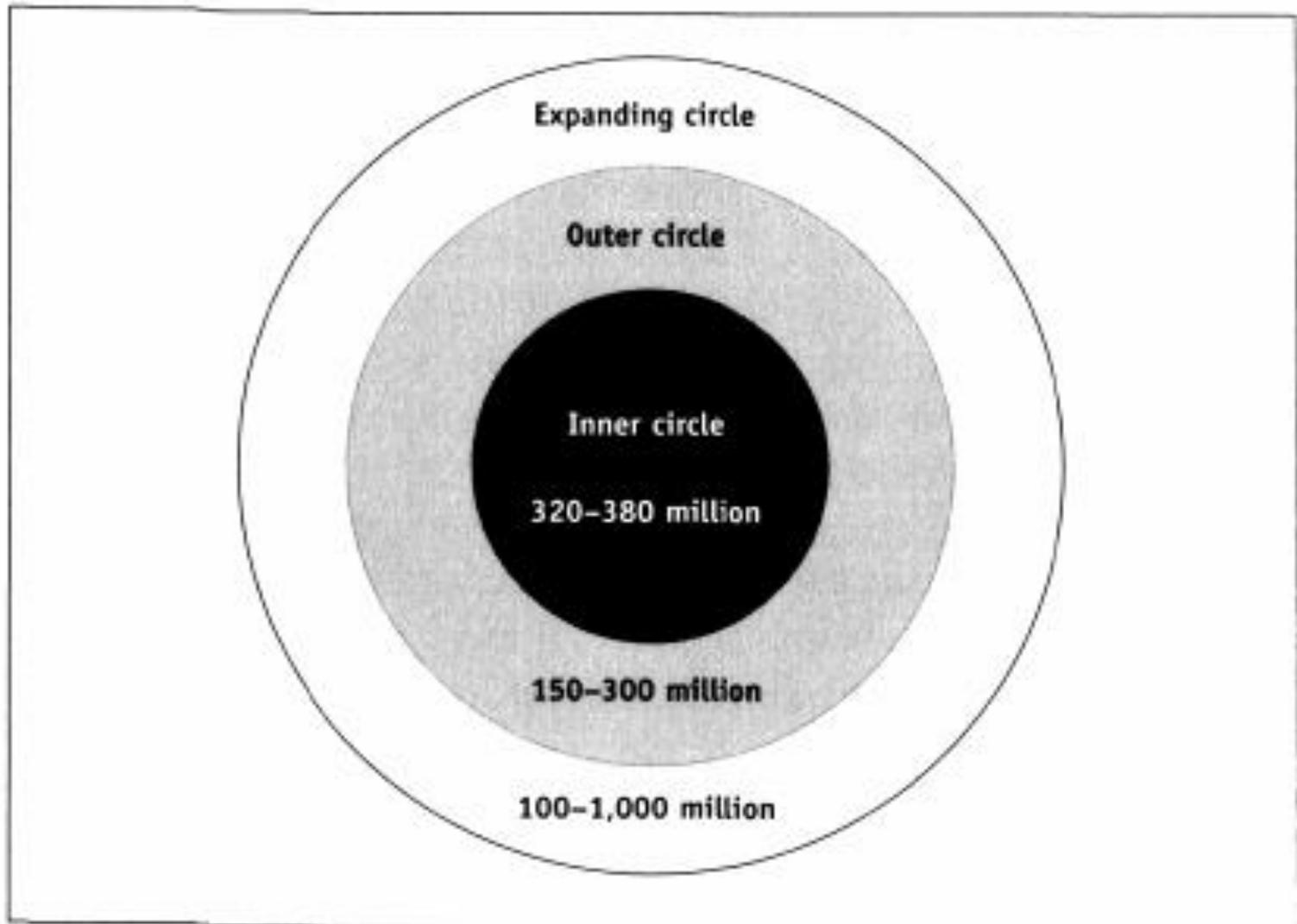
安くて品質のいいものが勝つとはかぎらない

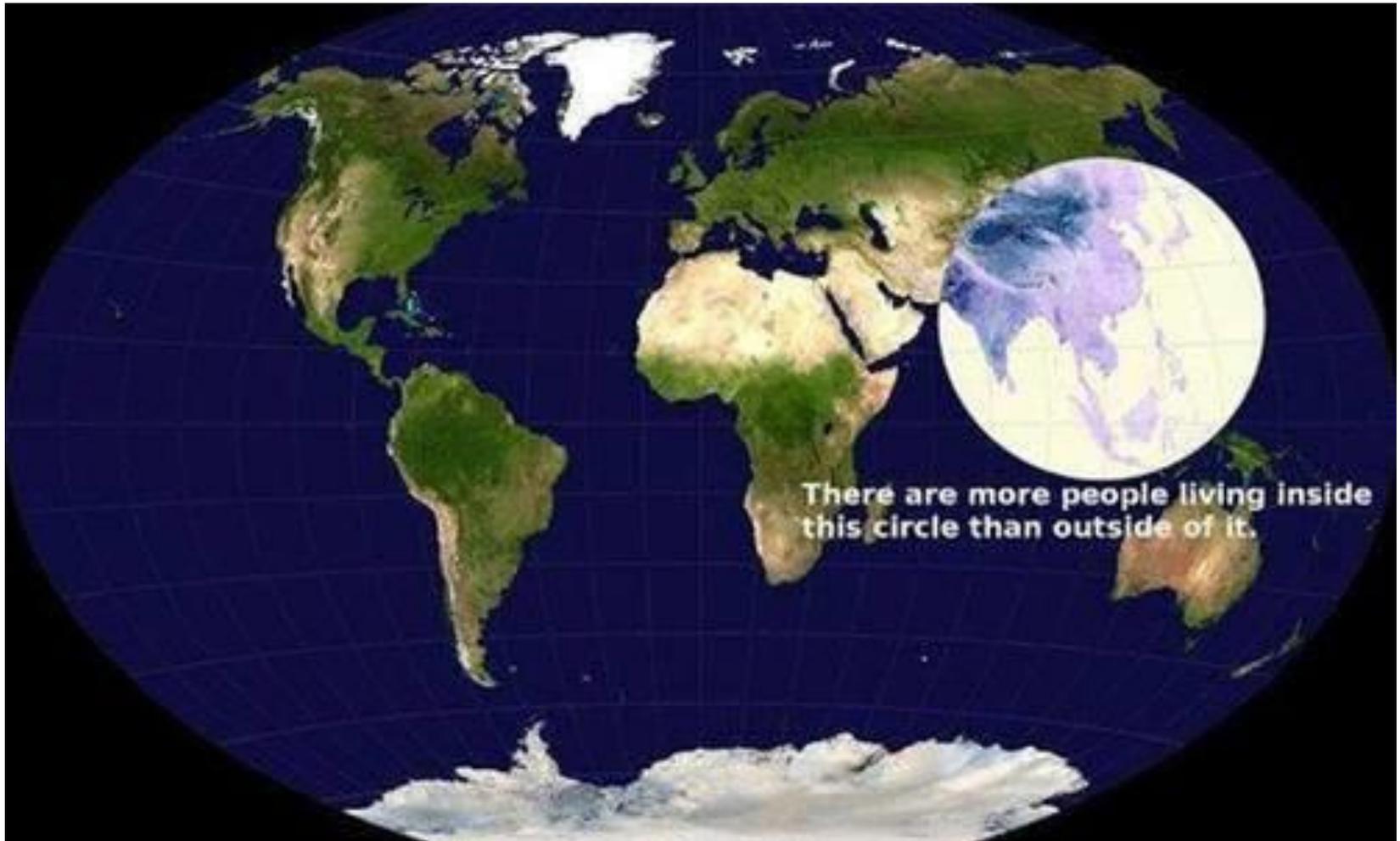
雪だるま効果



勝負はタイミング

米国の貿易政策(1990年)

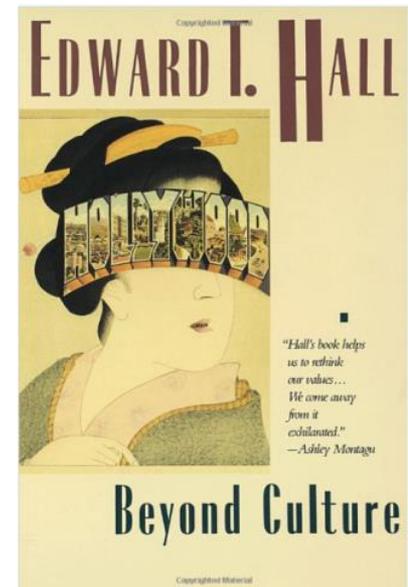




**There are more people living inside
this circle than outside of it.**

コンテンツとコンテキスト

- コンテキストとは
 - 言葉や文章などの前後関係、背景知識、文脈、あるいは、それにかかわる解釈や意味づけのための情報
 - 「これははしです」 「アレとって」
- ハイコンテキスト・コミュニケーション
 - 「行間」、「裏」、または、「真意」を読む必要性が大きいもの
 - 詳細説明なしにお互い分かり合える



エドワード・ホール
“Beyond Culture”(1976)

戦略シナリオ

- 世界GDPのうち、非先進国が生み出すGDPが10年以内に50パーセントを突破する。途上国の中所得者層の規模は2030年までに12億人規模に達する。途上国の**中所得者層**の人口が、アメリカ、ヨーロッパ、日本を合わせた総人口よりも大きくなる。
- 多国籍企業が1つの国際的デファクト標準(one-size-fits-all standard)を巡って競争するモデルである。
- それぞれの国の実情にあった新しいしなやかな標準(one-finds-own-size standard)モデルを、それぞれの国とのアライアンスに基づいて共同開発する戦略である。

*lingua franca*としての英語

英語を母国語とする国はアジアに存在しない。

(Extended circle: India, Malaysia, Singapore, Burnei, Malaysia, Hongkong, the Philippines)

コンテキストに依存したメッセージをコンテキスト・フリーな英語に変換、英語もまた認知構造に影響を受ける。

Singlish, Malaysia English, Taglish

L1 English (英語教育)

社会基盤整備の目標

レジャー

leisure

リクリエーション

recreation

レジジャーの要因

金銭

時間

人的資本

友人

都市の発展のメカニズムについて
外部性、補完性の考え方をを用いて
整理してみよう